

CEFR-J レベル

B1.2

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。

⇒ 警察で、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、希望する処置を丁寧に依頼し、その結果として正しい処置を受けることができる。

タスク：

内容： 海外旅行中にお財布の入ったカバンを盗まれてしまったため、警察に行って状況を説明し、盗難証明書を発行してもらう。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

あなたは海外旅行中に、現金・クレジットカードの入ったカバンを盗まれてしまいました。パスポートは別にしていたので持っています。現地の警察に行って、以下を説明して、旅行保険の請求に必要な盗難証明書 (a certificate of theft) を発行してもらってください。先生は、現地の警察官です。

1. かばんの外見
2. かばんの中身 (貴重品の詳細も含め)
3. 紛失した時の詳細な状況
4. 盗難証明書発行の依頼

カードを読み終わって準備ができたなら顔を上げてください。

③ 会話開始。ストップウォッチで3分測る。

④ 最終的には、盗難証明書 (a certificate of theft) を発行してもらうために十分な情報を伝えることを目的とする。

⑤ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確認するために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑥ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑦ 話の途中で、3分後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

(アウトプット) テキスト1：このCEFR-Jレベルで合格の会話

生徒: Excuse me. My bag has been stolen. I have my purse in it. (盗難にあったことの説明 OK)

教員: OK. What kind of bag is it?

生徒: It is a red backpack, about 30 cm. It is made of nylon. I had a leather purse in it. It is yellow. I put it in a pocket inside of the backpack. (カバンの外見、中身の説明 OK)

教員: When did it happen?

生徒: It was about three o'clock this afternoon. I was shopping in the Golden Mall. I was in GAP. I wanted to try a coat on, so I put my backpack on the floor. And I went to see a mirror. It was really for a short time, but it was gone when I came back. (状況説明 OK)

教員: Was there anyone else?

生徒: Yes. I was with my friend, but she was looking around in the shop and didn't notice.

教員: Are you sure that you didn't see anyone suspicious?

生徒: Yes. I didn't see anyone taking my backpack.

教員: Did you talk to a person in the shop?

生徒: Yes, but she said she can't do anything. I talked to the person in the lost and found. She said I should go to the police.

教員: How much did you have in your purse?

生徒: I had about 50 dollars and three credit cards. I have cancelled the credit cards already. (一連の質問への回答 OK)

教員: There is not much we can do about the cash. Do you still need a certificate of theft?

生徒: I need a certificate of theft for an insurance purpose. (盗難証明書発行の依頼 OK)

教員: Do you have an ID with you?

生徒: Yes. I have brought a passport.

教員: OK. Please fill this out.

生徒: Thank you.

教員: Thank you. This is the end of the task.

(カバンの外見、中身、状況に加え、警官の意地悪な質問や発言(誰も見なかったのか、店員と話したか、現金はどうしようもないよ)にも冷静に自信を持って答えたため、評点3)

(アウトプット) テキスト2:途中で沈黙など問題がある場合

生徒: Excuse me. I have lost my bag in the mall. (盗難にあったことの説明 OK)

教員: What does your bag look like?

生徒: It's red. It's a backpack. (カバンの外見、中身の説明 OK)

教員: What were you doing when you lost it?

生徒: I was shopping. ... I put a coat on. And it was gone.

教員: What do you mean?

生徒: ... (10秒沈黙)

教員: Why did you put on a coat and lose your bag?

生徒: I tried coat in GAP. I went to see mirror. When I came back, the bag was gone. (状況説明不十分)

教員: OK. Somebody else stole it, you think?

生徒: Yes.

教員: What did you have in the bag?

生徒: I have money and credit cards.

教員: Have you cancelled your cards?

生徒: ... (10秒沈黙)

教員: Have you called credit card companies to cancel the cards?

生徒: Yes. (一連の質問への回答不十分)

教員: Then, there is not much we can do.

生徒: Oh ... (10 秒沈黙) (盗難証明書発行の依頼できず)

教員: OK. This is the end of the task.

(盗難証明書を出してほしいという意図が通じなかったため、評点 1)

#### 開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) 第 2 期 (分析)

#### メモ

##### 注意点:

- ・ なかなか (30 秒程度) 顔を上げない学生には、"Are you ready?" など声をかけ、会話を開始することを促す。
- ・ 教員は質問をし過ぎないようにする。あまり協力的にならないように気を付ける。
- ・ theft が発音できなくて困っている受験者には、You mean a certification of theft? などのように、発音を教える修正フィードバックをしても問題ない。

##### 評価の目安:

- ・ theft が発音できなくても減点しない。
- ・ 盗難の状況をわかるように説明し、自然に盗難証明書が欲しい、と言えれば評点 2
- ・ 複数の教員の非協力的な質問にも動じず答えて、盗難証明書を丁寧に依頼できれば評点 3。また、詳細さや流暢さ、正確さが高かったり、複文等の複雑な文構造やつなぎ言葉が多く見られたり、会話をリードしたり等のプラスの要素が 2 つ以上、一貫して見られる場合には、評点 3
- ・ 盗難証明書が欲しいと言えなかった、言っても十分な状況説明がなく唐突だった場合は評点 1

開発担当者: 金子恵美子 (原案: 東京外国語大学 李想さん)